

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●柴山雄一騎手がJRA通算500勝を達成

1月28日(土)の1回東京1日・第2レースではハッスルバッスルが1着となり、同馬に騎乗した柴山雄一騎手(美浦・フリー)は、現役33人目となるJRA通算500勝(8327戦目)を達成しました。

●国分恭介騎手がJRA通算200勝を達成

1月29日(日)の1回中京6日・第12レースとしておこなわれた伊良湖特別ではラインシュナイダーが1着となり、同馬に騎乗した国分恭介騎手(栗東・フリー)は、現役61人目となるJRA通算200勝(5142戦目)を達成しました。

●藤沢和雄調教師のJRA通算勝利数が歴代単独第3位に

1月28日(土)の1回東京1日・第12レースではムーンクエイクが1着となり、同馬を管理する藤沢和雄調教師(美浦)は、歴代単独第3位となるJRA通算1339勝(7696戦目)を達成しました。

●ミッキーアイルの競走馬登録抹消

2014年NHKマイルカップ(GI)や2016年マイルチャンピオンシップ(GI)などの勝ち馬ミッキーアイル(牡6歳/栗東・音無孝秀厩舎)は、1月29日(日)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績19戦8勝・海外1戦0勝で、今後は北海道安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

●ホープフルSがGI昇格、ターコイズSはGⅢに

今年度のホープフルSとターコイズSの格付けについて、日本グレード格付け管理委員会(およびGI昇格申請となるホープフルSに関してはアジアパターン委員会)による昇格および新規格付けの承認があり、ホープフルSはGI、ターコイズSはGⅢとなりました。

●ドバイワールドカップデー諸競走に日本馬65頭が予備登録

3月25日(土)、アラブ首長国連邦ドバイのメイダン競馬場でおこなわれるドバイワールドカップデー各レースに日本馬65頭の予備登録がありました。ドバイワールドカップにアウオーディーやアポロケンタッキー、ドバイシーマクラシックにキタサンブラックやマカヒキ、ドバイターフにヴィブロスやヌーヴォレコルト、ドバイゴールデンシャヒーンにニシケンモノノフ、アルクオーツスプリントにスノードラゴンなどが登録しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●オールブラッシュが川崎記念(川崎)を逃げ切って重賞初制覇

川崎記念(JpnⅠ、2月1日、川崎、2100m)は、先手を取った5番人気のオールブラッシュ(クリストフルメール騎手、牡5歳、父ウオーエンブレム)が、単勝1.6倍で断然人気のサウンドトゥルーを3馬身引き離して逃げ切り勝ち。コスモカナディアンが接戦の3着争いを制し、3番人気のミツバは4着、2番人気のケイティブレイブは5着、バスタータイプは8着に敗れています。

●佐々木竹見CジョッキーズGPは浦和の繁田健一騎手が優勝

1月31日に全国からリーディングジョッキーを集め、川崎競馬場で2レースのポイント制で争われた佐々木竹見Cジョッキーズグランプリは、1、3着という成績で繁田健一騎手(浦和)が優勝。JRAの戸崎圭太騎手は9、12着で第12位、クリストフルメール騎手は11、10着で第13位でした。

●ストロングサウザーらが出走、2月7日の佐賀記念(佐賀)

佐賀記念(JpnⅢ、佐賀、2000m)は、昨年の覇者ストロングサウザーが一応中心も混戦模様で、ロンドンタウン、タムロミラクル、カツゲキキト(愛知)、トウショウフリーグ、リッカルドまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ペガサスワールドカップ招待S～アロゲートが快勝

世界最高の総賞金1200万ドル(約13億8000万円)をかけて、1月28日に米フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で行われた第1回G1ペガサスワールドカップ招待S(ダート9^フ)は、単勝1.9倍の1番人気に支持されたアロゲート(牡4歳、父アンブライドルズソング)が内ラチ沿いの3番手追走から3～4コーナーで先頭に立つと、直線でも他馬を寄せ付けず4馬身³/₄差で快勝。1着賞金の700万ドル(約8億1000万円)を手に入れました。2着にG1ウッドワードSの勝ち馬シャーマンゴースト。アロゲートと人気を二分した昨年の米年度代表馬カリフォルニアクロームは早々に手応えを失い、9着で引退レースを終えました。勝ったアロゲートは、これでG1トラヴァーズS、G1ブリーダーズカップクラシックに続いてのG1・3連勝。昨年6月の初勝利からの連勝は6に伸びました。勝利騎手はM.スミス、調教師はB.バファート。なお、ペガサスワールドカップ招待Sの賞金は、フルゲート12頭分の出走権をそれぞれ100万ドルで販売することで調達されたもの。出走権は、貸したり、シェアしたり、売却したりすることも可能で、このレースの馬券売り上げ、放送権料、スポンサー収入からそれぞれ純利益の12分の1を受け取る権利も含まれています。